1 2019年11月16日(土)市原版　次回発行日▶11月23日(土)

おかげさまで 創刊1500号

よりよい地域をめざして……地域情報紙

シティライフ

2019.11.16

市原版　Vol.1500

配布地域／市原市・袖ケ浦市【75,000部】

https://www.cl-shop.com

企画・制作／シティライフ編集室 〒290-0056 市原市五井4874-1
TEL.0436 (21) 9311　FAX.0436 (21) 9142

シティライフ発行1500号　子育て支援特集

いつもご愛読、ありがとうございます。地域情報紙『シティライフ市原版』は、おかげさまで今号で1500号の発行を迎えることができました。これも日頃から読者の皆様、スポンサーの皆様の支えがあってのことと、心よりお礼申し上げます。

市原版は今年で創刊36年、長生・山武・夷隅エリアに発行する外房版は29年。それぞれ地域に密着した情報をお届けすることで、皆様のお役に立てればと願って参りました。今号は特集として『子育て支援』をピックアップいたしました。1・2ページには小出譲治市原市長へのインタビュー、3ページからはボランティアの活動、市原市の新しい支援体制などを取り上げました。今後も、「よりよい地域を目指して」を合い言葉に、スタッフ一同頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「子育てするなら市原市」若い世代に選んでもらえる施策展開を

小出譲治 市原市長

―市で行っている子育て支援策の特徴をお教えください。

「市原市では、妊娠・出産・子育てを一貫して支援するサービス提供を目指し、順次整備をしてきました。中心となっているのが『子育てネウボラセンター』です。『ネウボラ』はアドバイスの場を意味するフィンランド語で、相談や各種事業を行っています。この10月1日から始まったのは『産婦健康診査の費用助成』。医師、助産師、保健師等の専門職により、出産後のお母さんの心身の回復や産後うつの予防をはかるものです。このサービスのスタートにより、3年前に創設した『いちはら版ネウボラ』のすべてのメニューが揃いました。人口減少時代に入り、未来の市政にも関わる問題として、市の人口流出や減少は大きな課題と捉えています。若い世代に安心して子育てをしてもらえるようにすることが、最大の使命だと思っていますので、子育て・教育の問題には、しっかり対応していけるよう、大きな予算をつけて計画・実行しています」

―11月1日からは「子ども家庭総合支援拠点」が動き出していますね。

「そうです。こちらは、家庭児童相談室に設置しています。拠点設置は国が求める子どもの虐待防止の強化で、2022年までに全国の各市町村が設置することを目標とし、努力義務とされています。市では早急な対応が図れるようにと、今年度、先駆けてスタートさせました。これまでの家庭児童相談室は8名体制で、やはり多くの相談を受けると対応が遅くなることもありましたが、現在は総員14名と体制を強化しました。増員した相談員は6名で、社会福祉士2名、精神保健福祉士1名、教員免許所持者1名、心理学科卒業者2名と、専門性を活かした支援を行います。さらに子育て支援事業は、以前始めたサービスの見直しにも入っています。社会情勢の大きな変遷に常に合わせ、より精度の高いものにしなければなりません。一度決めたから良いというのではなく、進化させながら実行していく施策が求められている。これは全ての市の事業に当てはまります」

―どのように見直しを行っているのですか。

「毎年度、計画について成果を検証し、実施事業についてどういう結果になっているか把握しています。翌年度に向かってどう活かすか検討することが、市政の基本計画である『市原市総合計画』で決められています。子育て支援事業などの計画は、3年のスパンですが、その間いじらないということではなく、必要なものは、順次期間内でも変えています。市民のニーズに対し、たえずブラッシュアップしていかなければなりませんし、子育て関連は、妊娠・出産からすべて切れ目なく繋がっているものです。一貫して様々なサービスが受けられるように、市もそれに応じた支援を行わなければなりません。その積み重ねが大事だと思っています」

―市民の声を常に反映していくということですね。

「じつは、市の総合計画策定についても、平成27年から『いちはら未来会議』を行って、多くの市民の声を活かしました。こうした対話は、常に続けていかないと、市民本位の施策になりません。私と

(2Pへ続く)

しては、市民との対話が市政の基本となる行動原理と考えており、各部署でもできる限りその機会を作っています。私が直接対話させていただく機会として、未来創生ミーティングがあります。市内11ブロックの町会長会議に毎年出席して、519ある町会の代表者と様々な地域の課題を議論しています。『対話と連携』『もっと前へ』の2つをキーワードとして、市長の2期目を務めさせていただいていますので、様々な課題の解決に向けて前へ進めるという意識です。先も見越してさらに対応できないかと、職員皆が理解し、一丸となって、あらゆる施策を見直しています」

―さらに、新しい子育て支援体制も動き出していますか？

「令和2年度からの『(仮称)市原市子ども未来プラン』は、5カ年計画の総合的な子育ての施策で、現在策定中です。今までやってきたことがすべてこのプランの中に入るように、また、若いお母さんたちにワークショップなどに参加していただいて、率直な意見を聞き、調査内容を折り込んでいく方法で作っています。これからは特に若い世代が重要です。すでに市外に流出している世代に、まちづくりも含め、どんなことが支援として必要とされているか聞く会議もしたいですね。市原市に住んでもらうためのニーズは、市内で考えるだけでは実効性のあるものにならないと思っていますので、ターゲットを絞り当事者の生の声を聞いて、意見交換するのが重要と考えています」

―今回の台風による被害は大変でした。市は防災をどう考えますか。

「今まで県外で市原をアピールするときは、『温暖で災害のない街』としてきましたが、これはもう言えないですね。しかし、同時に相当な課題が実際に見えたという現状もあります。解決のために重点的に対応して、『災害が起きても安心なまち』という体制を作っていかなければなりません。今はどこがどんな災害に巻込まれるか分からない時代です。今回の経験をどう活かし、安全対策・防災対策を行っていくか。市では当然、危機管理課を中心にやっていくわけですが、『災害に強いまちづくり』という視点が何より必要です」

―避難勧告や避難所の設置も早めに動いていますね。

「安全確保を第一にと考えて、早急に避難勧告を出すようにしています。発令が遅れて人命に関わる事態になるよりも、空振りを恐れず、何も起きないほうがいいと指示しています。また、今回の台風15号で分かったのが、粉ミルクの備蓄の必要性です。これまでは大きな災害で、一般的な避難者が3日間避難所を使うという想定でした。今後は女性、乳幼児、高齢者が必要なものも揃えていかなければなりません。開設した指定避難所が足りなくなるという状況も初めてでした。15号・19号のような大きな災害では、今まで足りるであろうと思っていた避難所が不足する。周辺の学校施設も早期に受け入れるよう変更しましたが、今後も同様のことが起こると考えて、地域防災計画の強化・見直しをしていきます。さらに、歯科医師会の先生方からは、避難が長引いた場合は口腔ケアが大事だとの話も聞いています。ここをケアしていかないと、高齢者や子どもたちの病の発症の要因になると。その対策も必要です」

―最後にメッセージをお願いします。

「これからの市原の発展のためには、子育て世代の人たちに、市原を選んでもらうことが大命題だと思っています。かなり重層的に施策展開をしていかなければならない。ハード面もソフト面も整えていかなければならないと。『子育てするなら市原市』と選んでいただけるような施策を総合的に展開していきますので、ぜひ市民の皆様の声をお聞かせいただければと思います」

（米澤）

こどもフェスタでのひとコマ（写真提供：市原市）

ちはら台フォトクラブ 設立五周年記念写真展開催

2014年にクラブが設立され、早くも5年が経ちました。クラブ員も10名に増え、楽しく活動を続けています。月一回の定例撮影会は、時々2台の車にはなりますが、大半は1台の車で撮影にでかけています。

人の絆を大切にしているクラブなので、いつも行動は一緒です。撮影もお昼の食事もそうです。そんな仲良しクラブで撮影した5年間の写真から、選りすぐりを今回展示します。テーマは特にありませんが心を込めて写真を撮っていますので「まごころ」を写し込んだ写真となります。今後も皆様のご支援やご鞭撻を頂き10周年に向けて頑張る所存です。何卒宜しくお願い致します。

・11/21(木)～25(月)、9～21時（最終日12時迄） 市原市上総更級公園・公園センター（多目的ホール内）
☎0436・20・3555

撮影者：小幡勉

まるは手芸 楽ラク無料講習会
lesson.182
1玉のプチマフラー

完成品

今回は「1玉のプチマフラー」のご紹介。簡単に着脱でき、スヌードやネックウォーマーのように髪が乱れないので便利。コートの下でも室内で着けても使いやすい大きさで、冬のプレゼントに最適！糸はイタリア製の「KANSAS」を使用。空気を含んだ特殊な製造方法で作られた糸で、作品はとても軽く、ボリュームのある仕上がりになります。ラインが入るような少し変わった段染めです。

作り方は、一般的な作り目をしてゴム編みをします。そしてマフラーの通し口を作って、また本体をゴム編みします。最後に花のモチーフを作って飾り付けて完成。

●1玉のプチマフラー
11/18(月)、19(火)、21(木)、22(金)、23(土)
・材料、968円（1玉、税込）、棒針12号、14号、かぎ針7号、ほつれ止め、とじ針、筆記用具持参。
・受講は1日から、できあがるまで何回でもOK。右記以外の日程（日・祝も可）をご希望の方はご相談ください。材料のみの購入も可（編み図サービス）。

(営)10:00～18:30 (休)第1・2・3水
市原市辰巳台西2-6-1
☎0436-74-0746

産後のママを応援！
産婦健康診査に助成スタート

出産後すぐのお母さんは、ホルモンバランスの変化や慣れない育児で、体調を崩しやすくなっています。この時期に、医師、助産師、保健師等の専門職が早期に支援し、お母さんの心身の回復や産後うつの予防をするため、おおむね出産の2週間後と1カ月後に『産婦健康診査』を行っています。

市原市では今年10月1日からこの健診費用について、1回につき上限5000円、最大2回までの助成が始まりました。次の条件の方が対象となります。

・受診日に市原市に住民登録がある方
・質問票等に回答し、産後の支援に活用されることに同意される方

◇受診方法
・出産した医療機関等で、受診票と質問票を提出して受診すれば、費用の助成が受けられます。
・受診票が使える病院などは市ウェブサイトで確認できます。指定外の医療機関で受診した方は子育てネウボラセンターへ申請します。
・出産後2週間の健診は、実施していない医療機関等もありますので、受診する前に確認して下さい。

◇受診票の受け取り方法
・子育てネウボラセンターで母子健康手帳・別冊を交付する際、「産婦健康診査受診票」も渡されます。

㈲子育てネウボラセンター
☎0436・23・1215

児童虐待から守ろう
子ども家庭総合支援拠点を設置

年々増加している児童虐待。子どもが死亡する痛ましい事件も後を絶ちません。市原市でも平成30年度では新規の虐待相談が399件と、多数の相談が寄せられています。

国では2022年までに、全国各市町村で「子ども家庭総合支援拠点」の設置を目標にしていますが、市原市はこの11月1日に、家庭児童相談室に同拠点を設置しました。子どもや保護者に寄り添い、継続的にきめ細かい支援をするため、専門資格を有する職員を増員し強化。児童相談所や子育てネウボラセンター、各学校などの関係機関と連携を密にし、それぞれの子どもたちに合った支援を行います。

◇拠点体制
・正職員3名：保健師2名・事務職1名
・家庭児童相談員（嘱託）11名（うち6名が今回増員）：社会福祉士5名、保育士1名、精神保健福祉士2名、教員免許所持者1名、心理学科卒業者2名

◇児童虐待とは？
・身体的虐待：殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど
・心理的虐待：言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなど
・ネグレクト：家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、車の中に放置する、重病でも病院に連れて行かないなど
・性的虐待：子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど

㈲家庭児童相談室
☎0436・23・9746

おかげさまで 創刊 1500号

おかげさまで創刊1,500号

1982年の創刊以来37年。シティライフは“よりよい地域をめざして”を編集方針に号を重ね今回1,500号を迎えることができました。これまで読者の皆様をはじめ、スポンサー様のおかげとスタッフ一同心より感謝しております。このページでは、読者のみなさんからお寄せいただいたコメントを紹介させて頂きます。

シティライフ1500号の発行おめでとうございます。毎週土曜日に新聞に入ってくるシティライフをとても楽しみにしています。私の思い出としては2017年の5月13日号に“書道で自分磨き”という題で私の書道教室やプロフィールを紹介頂いた事。そのきっかけは、やはりその年の1月28日号にシニア向けの“はつらつ筋トレ”を取材に来られて紹介して頂いた事がきっかけでした。その数年前にも三和コミュニティの畑教室を10人位の仲間と一緒に紹介して下さり、この毎週のシティライフをとても楽しみにしてすみずみまで読ませて頂いています。古くは遠山あきさんのコーナーを楽しみにしていましたが残念でした。梅料理教室で実際にお会い出来た事がなつかしく思い出されます。最近はページ数が少なくなって少し残念に思っています。これからもいろいろな楽しい記事を拝読させてください。期待しています。よろしくお願いします。

（泉台　花熊）

シティライフ1500号発行おめでとうございます。私事昭和4年生まれ今年で90歳を迎えました。昭和57年以来毎号情報満載で拝見しております。以前俳句掲載されていた時、投稿作が入選し、そのコピーを保存してあります。頭の体操にするのでスミからスミ迄読んでいろいろ参考にし、特に健康レシピは家族7人3世代同居なので作って舌鼓をうっております。イベント等はとても参考になり、ありがたいですね。スタッフの皆様のご健康とシティライフの継続することをおいのりしております。

（五井　斎賀）

私はシティライフで「遠山あき」さんを知り毎号楽しみに読んでいました。本も「風のうた」などで市原を好きになった。同様の企画「私のひとり言」もあり今後も楽しく読ませていただきます。

（西国分寺台　川東）

日頃気になっていたお店の紹介があり実際に行くきっかけになることが沢山ありました。地域の情報が満載でとても役立っています。これからもおすすめのお店紹介をよろしくお願いします。楽しみにしています。

（松ヶ島　青木）

1500号発行達成おめでとうございます。今まで載せて頂いた事もありますが、以前と変わり両親の介護でなおさら読むのが楽しみで情報得るのにありがたい。内容も豊富で知らない事、美味しいもの、美しい四季等々、その都度取り上げて下さり、実際たずねて食べて味わい、ちょっとしたプチ旅行気分になります。これからもスタッフの皆様大変とは存じますが、楽しみ、期待、応援していますので益々ご発展をお祈りします。と共にお体に気をつけて下さいね。これからもよろしくです。

（廿五里　佐久間）

私にとってのシティライフは最も身近な情報紙です。活動していたNPO法人の取材を受けたり、地域のこどもの遊びについて義母がお世話になったり…。その中で一番の大切な思い出はペット情報です。20年程の犬との生活の中で3匹の仔犬を紹介してもらい我が家の大切な家族となり掛け替えのない思い出をいっぱい頂きました。シティライフの3行の情報から絆が生まれ幸せな暮らしが続きました。これからも地域に密着したニュースを届けてください。

（養老　丸）

シティライフ1500号おめでとうございます。昭和57年からとは長く続いていますね。驚きました。私達は福祉会館で盲人の方へ県民だより、市の広報等を音に(CD/テープ)にして送っているボランティアグループ市原朗読の会です。十年ほど前、私達のグループもシティライフで紹介していただきました。又、その頃よりシティライフの編集長さんに承諾を得てシティライフの「話の広場」という新聞などから記事をお伝えする情報テープ(CD)にも使わせていただいています。特に市内の学校の特徴ある紹介や、身近に住んでいる方の活躍している記事は興味を持って聴いていただいています。土曜日、新聞紙の間にシティライフを見付けると必ず読んでいます。これからも身近にあるいろいろな事を記事にしてお知らせ下さい。シティライフがこれからも続いていきますようにと思っております。

（市原朗読の会　金賀）

昨日、当選しました新倉瞳&佐藤卓史デュオリサイタル文化会館に行って来ました。楽しい一時を過ごし良い癒しの時間でした。プレゼントありがとうございました。創刊昭和57年からすごい歴史です。シティライフすみからすみまで読んでいて良かったです。これからも頑張って下さい。

（田淵　鈴木）

「ジャック・ラッセル・テリア」を飼い始めた時に着物姿の写真を載せて頂きました。家族中で喜び良い思い出です。その犬も八歳の時に不慮の事故で亡くなりましたが911号のシティライフは大事に保存しております。

（中高根　日野）

令和に入り、明るく穏やかな生活が送れるよう、以下の話題やアイディア掲載を望みます。
・高齢化社会突入【医療費、介護、年金問題】・限界地域化【伝統的行事や習慣が失われ、人との繋がりが希薄になる時代に生きる知恵】・自然環境への対応【気候変動が大きくなり被害が甚大化、防災と環境への取り組み方について】

（ちはら台南　菅田）

1500号発行おめでとうございます。シティライフには、お店の情報を載せていただいたり、俳句のコーナーに載せて頂いた事が思い出です。今年は私達の住む静かな市原市に台風15号、続いて19号が上陸してびっくりした。55mの風速の竜巻がおこり被災者の方はさぞかし大変だったと思う。私が娘の頃だった、激しく強い台風で、ふる里加茂地区は養老川が氾濫し田畑を囲むように流れ、一夜にして一面水浸しになり大きなダムに化けたのだ。稲も作物も水の中に浸かり、初めて変り果てた風景を見た。地域の為に尽くす父は、この水害をくい止め、地域の皆がこれから先、安全な生活が送れるようにと県に出向き、高滝ダムを作る事を懇願した。そして、県も協力して下さり調査開始から20年後の平成2年に無事ダムが完成。しかし残念ながら父はダム完成の前年に亡くなりダムを見る事は出来なかったが、完成前にダムの土手に桜の木を植えて満足そうな父の顔を今も思い出す。長野の千曲川、東北の水害がテレビで放映され心を痛めて居ます。これからも災害防止や復興の為にシティライフと地域の皆で力を合わせて頑張りましょう。必ず花は咲きます。

（五井　森田家　森）

1500号おめでとうございます！私のシティライフの一番の思い出はもう13年も前になりますが、迷い犬を飼い主さんに返してあげられたことです。「犬を探しています」の投稿を見たことがきっかけでした。おとなしくて賢そうなワンちゃんと飼い主さんが迎えに来た日のことは今でも覚えています。あの日のシティライフを読んで本当によかったです。

（市原市　モーニング）

イベント欄を見て、コンサートに行ったり懐かしい歌を歌う会場に行ったりして楽しんでいます。プレゼントが当選したこともありました。これからも魅力ある情報をお願いします。私の家は千葉市に近いので、千葉市内の記事やイベント情報をもっと載せていただけると嬉しいです。

（ちはら台南　ココナッツ）

シティライフ 500号　2000年9月2日発行

1996年より「HELLO21世紀」と題して5年間をカウントダウンしてきた最終年となったこの年は「永久の生命（時間）に感謝」をテーマとしました。また、500号を迎え初心に立ち戻り、これまでお力添えを頂いた方々に感謝すると共に悲惨な交通事故の減少を願い、創刊の年に行い多くの反響を頂いたシティライフ主催の交通安全祈願キャンペーン「ハートtoハート」を実施。発行エリアである市原市、茂原市、山武郡、長生郡、夷隅郡などで折り紙とメッセージ入り短冊のセットをドライバーの皆さんに手渡しました。

シティライフ 1000号　2010年1月23日発行

創刊から28年目にあたる平成22年1月に節目となる1000号を発行する事が出来ました。今号よりタイトルデザインを変更し今のデザインを採用、新たなスタートを切りました。1面には農民作家である故遠山あき先生より御祝いメッセージを頂き、また2面には画家の松下佳紀先生からもお祝いのメッセージを頂き、終面には「小湊鉄道ひとすじで!」と運転任務に励んでこられた小湊鉄道運転士　長谷允康さんのインタビュー記事「小湊鉄道を走らせ約半世紀～小湊鉄道の今昔を語る」を掲載させて頂きました。

市の子育て支援への橋渡し
地域とつながるきっかけづくりに
市原市子育て家庭支援員

子育て家庭支援員は、市原市の委嘱を受けて活動するボランティアだ。1期3年で、定年は概ね70歳、平均は50代という。市内11支部・164名が、乳児家庭全戸訪問事業や年1回のこどもフェスタ、公民館等で行う親子イベントなどの子育て支援事業で活動している。もとは平成16年11月に廃止された『千葉県母子福祉推進員』で、市独自の制度としてモデルチェンジし、平成17年に継続する形でスタートしたという。当時の推進員は、そのまま子育て家庭支援員に移行。現在まで人数は変わっていないそうだ。

同支援員協議会会長の長谷川さんは「私も最初は県の母子寡祉推進員でした。親しくしてくれた地域の方から18年位前に誘われて参加したんです。当時から戸別訪問という役割は同じですが、市の事業は、4カ月児のいる家庭の全戸訪問で、転入してきた場合のお子さんも1歳までの間に訪問します。市の子育てネウボラセンターの保健師さんと打ち合わせしながら、丁寧な訪問を心がけ、子育て冊子やリーフレットを渡しています」と話す。

始めたばかりの頃は会えなかったり、玄関越しの場合も多かったそうだ。「今は会える比率は格段に上がりましたし、会うと話をしてくれる方も多いです。外国の方だとお茶を飲んでいって！と歓迎されることもあるんですよ」と長谷川さん。ただ、地域のボランティアとはいえ、若いお母さんには「見知らぬ人が訪ねてくるので戸惑う」という意見もある。担当する市子ども福祉課では「戸別訪問は、子育てする上で、どこに相談窓口があり、どんな支援が受けられるのか必要な情報を届ける目的で行っています。身分証も提示しますので、できれば支援員さんに会っていただきたいです」と話す。

各支部ごとに運営する地域での子育て支援活動は、子育て経験者でもある多くの支援員が、子どもたちの喜ぶこと、保護者に役立つこと、息抜きできる時間づくりなど、様々に企画している。一番大きなイベントは、協議会全体で年1回開催する『こどもフェスタ』だ。各支部で催し物を考え、手作りし、関係団体も参加。市の交通指導員による交通安全教室も実施している。ゲームや作って遊ぶコーナー、絵本の部屋などで、親子はそれぞれ楽しむ。材料は段ボールや新聞紙など身近なものが多く、特に、大きな農業用の透明なビニールに絵を描いたビニールドームは、大人気だという。

「私たちは戸別訪問を、市の支援を利用してもらうための第一歩だと思っています。育児は答えが出ないことが多いです。ぜひ地域とつながりを持つきっかけにしていただいて、子育て中のお母さんたちの気持ちを、少しでも和らげたいと思っています」と長谷川さんは笑顔で話した。（米澤）

問子ども福祉課
☎0436・23・9802

こどもフェスタ（写真提供：市原市）

こでまりの夢
～子育て四訓～

「子育て四訓」とは、教育者のAさんが長年の教育経験をまとめたものだそうです。1、乳児はしっかり肌を離すな。2、幼児は肌を離せ。手を離すな。3、少年は手を離せ。目を離すな。4、青年は目を離せ。心を離すな。

この教訓はとても理にかなっていて、専門的に言えば『発達の段階』を踏まえたものです。1の『乳児はしっかり肌を離すな』は、乳児は愛着の形成時期だから。スキンシップが少なく、ほったらかしにされた赤ちゃんは愛着が形成されにくく、親子の絆や自己肯定感などにも影響します。成長してから、その影響は深刻になるかもしれません。しかし、この教訓通りに乳児の時にしっかり肌を離さず、スキンシップを取れば、親子の絆や愛着が形成されるため、幼児期になってから肌を離しても大丈夫、ということになります。

愛着と自己肯定感が育っている子どもの幼児期は、好奇心旺盛で活発になります。事故も多くなるため、交通量の多いところなどでは手を離してはいけません。ギャングエイジと言われる少年期は、目を離せない時期。集団で、やってはいけないことをやりがちです。しっかり目を離さないことが肝心です。青年期になれば、自分のことは自分で決めて行動しますが、失敗することも多々あるもの。目は離しても、心は離さないように。

子育て四訓は、子育てのポイント。これを心において、子どもを育てましょう。

中嶋 悦子（なかしま えつこ）
1965年生。宮崎県出身。二男二女の母。大網白里市在住。エンカレッジ・ステーション㈱代表取締役社長。NPO法人民間児童館おおきなかぶ理事長。社会福祉法人ありんこ会理事長。ありんこ親子保育園園長。保育士。エッセイスト。☎0475-53-3509

地域の子どもの居場所づくり こども食堂『トイトイ』

第1と第3(土)の夕方、辰巳台の住宅街の一角。光の子幼稚園に隣接する別棟の平屋に、こども食堂『トイトイ』の旗が出る。15時頃に集まるのは料理を作るボランティアスタッフ。子どもたちと一緒に遊ぶスタッフは16時頃から参加。子どもたちも16時過ぎからやってくる。「今日のメニューはなに?」「盛り付けやるひと!」「はい、お手伝いします!」と終始賑やかだ。

『トイトイ』の開設は3年前の2016年8月。もっと地域貢献できないかと関係者たちが長年考え、子どもたちの居場所づくりとしてスタートさせた。最初は手探りのまま、メニューをカレーのみにし、第1土曜日にオープン。翌年の4月には、メニューの2回に1回をカレー以外に変更。第3(土)が開設されたのは2018年で、現在1年半ほどになる。

「今でもそうですが、地域の方にお知らせするのが難しかったですね」と、開設前からの中心メンバーである山本さんは振り返る。「そのうちに、子どもたちに食事を提供するだけではなく、もっと広い意味での『居場所づくり』にしようという形に変わっていきました。子どもたちと一緒に楽しみながら、年配の方たちもボランティアとして貢献できたり、特に目的がなくても、誰でもここに来るとホッとする。そんな場所も必要なのではと思うようになりました」

運営は第1(土)が京葉教育文化センター、第3(土)は辰巳台地区社会福祉協議会が担当。料理は5〜6名で行い、1回に作る料理は30名分が目安。現在は献立表があり、様々なメニューを作っている。対象の子どもは就学前〜小学生、中学生もOK。平均10名ほどの利用で、多いと30名を数えるときもある。教員免許を持つスタッフがいる第3(土)には、勉強道具や宿題を持ってくる子どもたちもいる。食卓はボランティアスタッフも一緒に囲み、和やかだ。

「米や野菜などの食材は、地域の方の支援が大変ありがたいです。利用料金はその他の食材の仕入れに使います。家でおやつを作って持ってきてくれる人もいるんですよ」と山本さん。ただ、大人300円、子ども100円という料金だけでは運営費はまかなえない。企業から各福祉団体へ贈られる寄付金等を、炊飯器やコップ、ホットプレートなどの家電や食器の購入、不足する毎回の食材費へと充てている。

山本さんは「私たちには『地域のために』が一番大切なこと。子育てに大変な家族とどうやってつながり、どう子どもたちの助けになれるかがやはり難しいです。理想は週1回の開設。子どもたちの生活の中に定着させていければ、と思っています」と今後の希望を話した。(米澤)

(問)第1(土)山本さん・18時以降
☎080・6607・1917
第3(土)永里さん
☎090・7254・0820

アップルは国家資格をもつ訓練された整備士2,000名を有する日本最大の総合カーメンテナンスショップの全国チェーンです。

早い、安い、安心な 車検

土曜・日曜も車検できます!

表示価格は消費税込価格となります。

あなたの愛車の車検はいくら?

お手元に車検証をご準備して、今すぐチェック!!

注目!! 「初年度登録から13年未満の自動車」に適用される重量税です。ハイブリッド車・低公害車等のエコカー減税適用車、または「初年度登録から13年以上経過の自動車」の重量税につきましては、**お気軽にお問い合わせください。**

アップル車検料金表(税込)

	車種	車検基本料金	自賠責保険	重量税	検査更新料	現金価格合計
	軽自動車	17,490円	25,070円	6,600円	15,180円	64,340円
国産乗用車	車両重量1.0t迄	19,690円	25,830円	16,400円	15,280円	77,200円
国産乗用車	車両重量1.5t迄	20,790円	25,830円	24,600円	15,280円	86,500円
国産乗用車	車両重量2.0t迄	21,890円	25,830円	32,800円	15,280円	95,800円
国産乗用車	車両重量2.5t迄	24,090円	25,830円	41,000円	15,280円	106,200円
バン・トラック	車両総重量2.0t迄	21,890円	17,350円	6,600円	15,280円	61,120円

ご予約時割引特典

※上記車検基本料からの割引となります

最大割引 **14,300円**

全車に ガラスコーティングプレゼント! フロントガラス撥水加工

初割 新車から初めての車検(走行距離3万km以内) 3,300円割引

早割 早期のご予約ならこんなおトク!
- 3ヶ月以内前のご予約 3,300円割引
- 2ヶ月以内前のご予約 2,200円割引
- 1ヶ月以内前のご予約 1,100円割引
- 1週間以内のご予約 550円割引

こんなにハッピー

家族割 当店で車検を受けた方の2台目の車又はご家族の車 2,200円割引

級割 無事故割引(自動車保険の無事故割引・6等級以上の方) 1,100円割引

足割 当店にお車をお持ち込み、お引き取りして頂くと… 3,300円割引

無割 車検の際、水洗い洗車をご希望されない場合 1,100円割引

車検後のお楽しみ! 全国うまいものプレゼント

全国のおいしい名産品をGETしよう

5人に1人は当たる!

アップル車検を受けてアンケートに答えると 抽選で 全国うまいもの一品をプレゼント!!

ここが違う!

一日車検(代車無料)

①朝入庫→当日の夕方完成
②夕方入庫→翌日の夕方完成

※お車の状態により一日で車検が終了しない場合もあります。

整備保証付!
車検の際、交換、調整をした部品は、10,000km又は6ヶ月の整備保証付です。

事前の短時間正確見積!(無料)
見積りにお車をお持ち込み頂くと即リフトアップをして、分解・点検をします。
後で「こんなにかかったの!」なんてことはありません。

どこのメーカーでも車検OK!
トヨタ・ニッサン・ミツビシ・スバル・ダイハツ・スズキ・ホンダ・マツダ・輸入車等
全てのメーカーに対応しております。
(但し一部の車両及び改造車はお受けできない場合があります。)

ハイブリッドの車検も整備もお任せ!

アップル車検では、ディーラーと同機種の最新故障診断機を使用しておりますので、プリウスの車検&整備もお任せください。
もちろん、**その他ハイブリッド車(EV・PHV)もOK!**
お気軽にご相談ください。

らくらく支払

- **クレジットカード** (VISA・Mastercard等)
- **J-Debit** お手持ちの銀行カード・郵便貯金のキャッシュカードでお支払いできます。
- **分割(ローン)** (6〜24回払い) 諸費用、消費税も含む車検総額OK

分割お支払い例

ご利用金額	12回払 月々支払金額	24回払 月々支払金額
60,000円	5,400円	2,900円
80,000円	7,200円	3,800円
100,000円	9,000円	4,800円
120,000円	10,800円	5,800円
140,000円	12,600円	6,700円

※金利15%(但し、初回のみ端数がでます)

※車検基本料には24ヶ月法定点検(バン・トラックは12ヶ月法定点検)が含まれます。点検の結果、不具合箇所の整備に要する技術料・部品代は別途となります。
※検査更新料の内訳は
(1)制動力検査、ヘッドライト照度検査、スピードメーター検査、排気ガス検査、サイドスリップ検査のライン機器使用料8,800円
(2)陸運局への検査、更新書類作成、更新手続申請代行費用5,280円
(3)印紙代 軽自動車1,100円、軽以外1,200円です。
※トラックのWタイヤ車は5,500円プラスとなります。

◎**輸入車および8ナンバーの価格はお問合せください。**

山市自動車(株)

〒299-0101 市原市青柳北2-6-13
0120-654-300
☎0436-22-1571
営)平日・土9:30〜18:00、日9:00〜17:00 休)祝、祭日

至木更津 至千葉 16 姉崎中央自動車学校 山市自動車 エネオス マクドナルド アピタ GS ファミリーマート (潮見通り) GS ドコモ 小出金物店 姉ケ崎駅 イトーヨーカドー (JR内房線) 五井駅 姉崎袖ケ浦IC (館山自動車道) 市原IC

1行24文字 2,400円(税別)

※掲載情報をご利用の際は、売買契約等、当事者間でよくお話し合いの上ご契約ください。取引について当社では一切責任を負えません

申し込み方法

◆発行日の2週間前までにご連絡ください。専用申込書をFAXまたは郵送でお送りします。
◆申込書に住所・氏名・TEL・広告文面など所定の内容を記入後、ご返送ください。
追って掲載料金等を記載した受注書を発行します。
◆掲載料は前払いなので、受注書を確認されたらお振込下さい。掲載紙面は1部ご郵送します。

買います

●ヤマハピアノ高価 コンドー楽器 ☎0120-137-512
●ピアノ 渋田 ☎24-0833
●金プラチナ商品券 相場・額面の90～98%で てんとう虫 ☎0475-72-9400 大網店 休み不定 0476-36-4388 富里店 043-310-5825 都賀店

営業案内

●ネズミ駆除 超プロが1回で完全駆除 被害はイエダニの発生 病原菌をまきちらす ★一戸建・アパートに限定 任せて安心 創業50年の信用 調査見積無料 田辺消毒防除センター ☎0436-25-2801
●ピアノのレンタル シツデン ☎24-0833
●家電品・電気のお困りごと 販売・修理・電気工事・空調工事 お気軽にご相談ください (日)(祝)休 君塚 岡安電気商会 ☎0436-22-1659
●ハンドメイドスペースゆきちゃん家 初心者～作ってみたい洋裁をレッスン 講師なしの個人利用、出張教室もあり 国分寺台 ☎090-4727-5670
●シロアリ防除 シロアリは駆除から『予防』の時代です まずはお電話で ダスキン姉崎 ☎23-0341

お知らせ

●21thビッグバンドガリスター・秋のコンサート 11／24(日)15時半開演 五井グランドホテル 完全前売3,800円(食事・1ドリンク付)、当日券はなし 秋冬の童謡をジャズで 小宮 ☎090-2658-5519
●アトリエ・コンサート J.S.バッハ ヴァイオリンソナタ全曲演奏会 12／1(日)14時開演 伊藤ハープシコード工房(市原市中高根) ヴァイオリン:宮崎蓉子、チェンバロ:大村千明 曲目:シャコンヌ(無伴奏ヴァイオリンパルティータ第2番)、クーラント(パルティータ第6番)ほか 3,000円・要予約・茶菓付 ☎0436-95-5880
●上映会「ねことじいちゃん」 11／27(水) 9時45分・12時15分・14時40分・17時・19時半 君津市民文化ホール 当日券のみ:一般1,200円・60歳以上1,000円・高校生以下900円 動物写真家・岩合光昭初監督、落語家・立川志の輔は映画初主演 ☎0439-55-3300
●まちのリフレッシュショップ・リフレッタ スーパーせんどう島野店・駐車場敷地内 切れなくなった刃物をリフレッシュ・刃物研ぎ「ムサシ屋」 ☎080-5033-6114 お肌に優しい天蚕シルククリームでお顔のリフレッシュ・マッサージ「GreenSilk」☎090-3504-6548 腰痛、肩こり、やせにくい、O脚などの身体を整え、身体の不調改善「HeartSmile」 ☎090-8316-7858

コミュニティひろば 無料

※掲載情報をご利用の際は、内容を当事者間でよくお話し合いの上ご利用ください。当社では一切責任を負えません

申し込み方法

※個人情報や呼びかけなどにご利用ください。
※掲載のお申込みはシティライフHPなどで。
https://www.cl-shop.com/customer/
またはFAXか郵送、メールで FAX0436-21-9142
メールkiji@cl-shop.com

サークル

●中国語・ニーハオクラブ 第2・4(日)14～16時 袖ケ浦市平岡公民館 月会費:1,000円 初心者・見学・体験歓迎 連絡15～17時 鈴木 ☎090-2325-4136
●お寺ヨガ 毎週(月)(木) 19～20時15分 清浄院(袖ケ浦市阿部) 禅の世界感を大切に、心や身体を浄化していくヨガ (月)は膝や腰が痛い方・運動が好きでない方でも参加できる (月)(木)どちらでも自由 初心者OK 参加費:1回800円 相田 ☎090-4437-0261
●そば打ちの会 三和コミュニティセンター:第1(日)9～14時・月会費1,000円×6カ月分前納・食材費2,000円・昼食食べて持ち帰り5食分・講師は福原 千種コミュニティセンター:第2(日)9～13時・月会費1,000円×6カ月分前納・食材費2,000円・昼食食べて持ち帰り5食分・年2回市原市主催教室そば打ちあり・講師は山下 ☎0436-36-0535
●千種ふれあいくらぶ(総合型地域スポーツクラブ) 年会費2,000円 いきいきエクササイズ(月)13～14時半 初心者卓球:(火)9時半～11時半 エアロビクス:(水)10～11時半 ヨガ:(木)9時半～11時 子ども習字:第2(日)10～11時・11～12時 ともに姉崎公園管理棟・1回400円 五井ヨガ:(木)14～15時半・五井公民館・1回500円 オイダ ☎0436-26-5539

イベント

●被災者の方へ、軽トラ無料で貸し出します TAX市原 ☎0436-23-0002
●房総古代道研究会セミナー 11／16(土) 13時半～16時 八幡公民館 参加:700円 講演テーマ「中国唐代の交通路と古代東アジアの交流」 古代中国の交通路について、入唐した日本僧の記録・調査をもとに最新情報を紹介 ☎0436-23-1098
●落語国際大会IN千葉 11／16(土)17(日) 13時開演 千葉県文化会館 観覧無料 16日予選大会、17日決勝大会 古典の日記念・アマチュア落語コンテスト フォーエヴァー内建営委員会 ☎043-239-5711
●大正琴とジャズ・オータムコンサート2019 11／17(日) 13時半開演 市原市市民会館 大正琴とビッグバンド・ジャズの出会い 出演:琴伝流大正琴・房総会、三井E＆S造船ビッグバンド・SwingVessels 曲目:天城越え、ドナウ川のさざ波ほか 前田 ☎0436-74-8199
●アコーディオンいちはら・うたの集い 11／17(日) 五井公民館 参加費:300円 唱歌や抒情歌、世界の民謡などの懐かしい歌、新しい歌など 歌集300円を毎回使用 話と指導:ないとうひろお 申込不要 当日、直接会場へ 鈴木 ☎0436-62-4121
●無料フラメンコ講習会 11／18・25(月) 19時～ 紅茶の店ホワイトコスモス(市原市山田橋) 参加無料、スタジオ代のみ参加人数割 簡単な曲で気軽にフラメンコを体験できる練習会を不定期に開催 初心者向け、年齢層も様々 飲み物持参、動きやすい服装 房総フラメンコプロジェクトちばもす事務局 ☎070-4286-3183
●手作りフラワー展 11／21(木)まで 10～16時 17日休み 花キューピー(市原市犬成) 入場無料 高山定子、角田豊子による作品展 アメリカンフラワーと樹脂粘土の花や小物(布物・アクセサリーなど) 趣味のキューピーも一部展示 休憩所でお茶・粗品あり ☎080-1093-8672
●サポート広場 11／21(木) 13時半～15時50分 市原市教育センター 参加無料 保護者対象 不登校の悩みなどを気軽に話し合える懇談会 子どもは所員との遊びや工作、軽スポーツなどの活動 保護者のみの参加もOK 要申込 電話かHP 受付:平日8時半～17時15分 千葉県子どもと親のサポートセンター ☎043-207-6028
●ギターの夕べ・クラシックギター発表会 11／22(金) 18時開演 入場無料 カフェi9MoriBonjuk(市原市国分寺台中央) 曲目:バルキーニョ、ショーロス、ロメオとジュリエット、2つのギター、エンターテイナー、海の見える街など ウクレレ&歌、講師・橋爪晋平による演奏 ティータイムあり ☎090-4224-8758
●月例ダンスパーティ 11／23(祝) 13時半～15時半 市原ダンススクール 参加費:500円・ドリンク付 プロ講師の相手もあり 岩崎 ☎090-6117-6930
●教会バザー 11／23(祝) 10～13時 五井ナザレン教会 中古衣料、手芸品、古本、日用品、飲食コーナー、フリーマーケット、ゲームコーナー、教会学校わくわくタイム 子ども～大人まで楽しめます 雨天決行 ☎0436-21-0566
●クリスマスオーナメント作り 11／24(日) 13時半～15時半 上総更級公園センター 木の枝を使いサンタやトナカイのクリスマス用オーナメント作り 参加費:200円 先着20名 電話で要申込 ☎0436-20-3555
●中野晃一講演会 11／24(日) 10時開演 市原市五井会館 資料代:500円、高校生以下は無料 講師:『保守化する日本政治』(岩波新書)著者、中野晃一(上智大学教授) 日本政治の現状についてのお話 ☎090-9234-0326
●レコード交流会 11／24(日) 13時半～ アネッサ 世界の合唱を集めて:ウイーン少年合唱団からダークダックスまで いろいろな合唱を聴く 参加費:300円(茶菓子付) ☎090-7716-4611
●押花絵展 11／29(金)まで 最終日15時まで 千葉県循環器病センター 主催:押し花サークル花物語 加藤 ☎070-6640-8368
●ムラ・カズユキ展 11／29(金)～12／8(日) 11～18時、最終日16時 会期中無休 ギャラリー睦(千葉市中央区弁天) 市原市在住 出版した素描集とその原画、油絵、水彩 44点 ☎043-287-2355
●帝京平成大学×帝京平成スポーツアカデミー公開講座 心の健康を保つためには 11／30(土) 11～12時半 帝京平成大学ちはら台キャンパス 当日直接会場で受付、事前申込不要 自分の強みをいかした対処法を考えてみよう どなたでも 参加無料 問合せ:帝京平成大学ちはら台事務室・平日8時半～17時・(土)12時半まで ☎0436-74-8881
●アルバムカフェ 11／30(土) 10～16時 マナビオ(五井) 12月の「アルバムの日」にちなんだイベント フォトコーナーでチェキ体験100円～、かざれるアルバム台紙デコ300円 クリスマス・フォトオーナメント300円 マステやグッズでデコ・アルバム持参・30分300円 アンケートに答えた方にノベルティプレゼント(数に限りあり) ☎0436-26-5267
●市原市楽友協会 市民コンサート 12／1(日) 14時開演 市原市市民会館 合唱とオーケストラによる演奏会 曲目:團伊玖磨「混声合唱組曲・筑後川」、グノー「聖チェーチェリア荘厳ミサ曲」 大人1,500円、高校生以下1,000円 浜中 ☎0436-66-2857
●朗読の集い・飛翔の会 12／3(火) 13時半～15時半 五井公民館 参加無料 朗読サークルの朗読会 ☎0436-22-2121
●特設人権相談 12／4(水) 10～15時 五井公民館 無料 「人権週間」に際し、人権擁護委員による特設人権相談を実施 困りごとや悩みごとがある方はお気軽に 事前予約不要 秘密厳守 ☎0436-23-9826
●市原シニアアンサンブルこすもす・クリスマスコンサート 12／5(木)14時開演 アネッサ 入場無料 80名 曲目:クリスマスメドレー、シンコペーテッド・クロック、クリスマスソングメドレーほか 松永 ☎090-9146-0504
●市原市人権・男女共同参画フォーラム 12／8(日) 13～15時半 市原市市民会館 参加無料 12月の人権週間に合わせ、千葉・茂原人権啓発活動地域ネットワーク協議会と合同開催 講演会「現代の人権をともに考えよう～ブッダの生涯から」講師:千葉公慈(市原市観光大使・宝林寺住職) 事前予約不要・当日午前11時に事前整理券を会場で配布 ☎0436-23-9826
●クリスマスコンサート ウクライナの歌姫ナターシャ・グジー 歌声とバンドゥーラの聖なるハーモニー 12／15(日) 14時開演 ちはら台コミュニティセンター 曲目:星に願いを、いつも何度でも、アヴェ・マリアほか チケット販売:11／17(日)9時～500円・先着200枚 払い戻し不可、未就学児不可、枚数制限なし ☎0436-50-2312

プレゼント

●雪・月・花 新演歌三姉妹コンサート招待券プレゼント 11／30(土) 君津市民文化ホール 昼の部:14時開演 夜の部:18時開演 出演:市川由紀乃・丘みどり・杜このみ チケットは各プレイガイドにて好評発売中 昼・夜のチケットを5組10名に 応募は郵便ハガキに、〒、住所、氏名、年齢、希望の部を明記し、〒102-0082 東京都千代田区一番町6-1 ロイアル一番町A-201 ベルワールドミュージック「雪月花シティライフ係」 11／22(金)必着分まで有効 チケットのご予約・お問合せはベルワールドミュージック ☎03-3222-7982 (平日12～18時)

シティライフの求人コーナー

アルバイト・パート・正社員求人情報

1行 2,400円(税別)
1枠 8,000円(税別)～

●パート・アルバイト募集 フロント・掃除係 時給950円 6時半～10時 アタックゴルフ市原 ☎0438-62-6172 受付(月)～ 藤成産業本社
●ホール・調理補助 時給1,000円 10～14時、17～22時 まかない付き 経験者優遇 五井・中華料理彩さいさい菜 ☎0436-21-5778

お得な求人専用枠あります。800円(税別 市原版)からご利用になれます。

嘱託社員募集
業務:夜間の公道等の漏水調査、水道関係業務
時給:1,000円
手当等:深夜割増・時間外割増・通勤手当
時間:17:00～翌9:30(休憩1H) 1ヶ月単位変形労働制(シフト制 月10日程度出勤)
※深夜割増を含み17,000円となります。
※30分短縮となる日があります。
資格等:普通自動車免許(AT可)
勤務地:(株)市原水道センター
応募:電話の上、履歴書と職務履歴書を郵送後、面接日を連絡。
(株)市原水道センター
〒290-0053 市原市平田1046-5
電話 0436-21-7041 担当 採用係

洗車スタッフ 営業スタッフ募集
給与 洗車スタッフ 時給923円～ 営業スタッフ 25万円～
時間 9時～17時 応相談
休日 火曜日、その他
待遇 社保完備、交通費支給
応募 まずはお気軽にお電話ください。
ダイワオート 市原インター店
市原市村上2313-3
☎0436-20-3900

●パート美容師募集 週1日からOK スウィート牛久店 ☎0436-92-2266
●パート・アルバイト 17時・18時・19時・20時～応相談・1時間でもOK 焼肉中村 ☎63-1129
●自動車整備士募集 若い方大歓迎! TAX市原自動車 市原市君塚5-1-20 ☎23-0002
●歯科衛生士急募! 短時間でもOK! ときた歯科クリニック ☎0436-25-6480
●訪問理美容師募集 午前中だけ、午後だけ、週1でも可 ステージ ☎0436-61-5451
●従業員募集 やる気のある方歓迎 社員寮完備 袖ケ浦市代宿 車買取・販売アンディトレーディング(株) ☎080-6510-4427 担当/鈴木
●ホール・接客スタッフ募集 高校生・大学生大歓迎 週1日～OK 平日17時45分～、週末・祝日応相談 時給900円 北国分寺台・いたり庵 ☎43-0750
●従業員・パート・アルバイト 調理補助&接客係 週2日以上 日数・時間は応相談 研修期間あり (水)休 千種 焼肉レストラン・白頭山 ☎21-1403
●パート・アルバイト急募 研修期間有 10～21時 ローテーション制 (月)定休 べにばな小金庵 ☎0436-66-7777
●宗田マタニティクリニック歯科室・パートスタッフ募集 歯科助手・受付:一日中又は午後勤務出来る方・経験者優遇 清掃:早朝又は診療後勤務出来る方、年齢不問 ☎0436-24-4103
●洗い場・接客ホール パート・アルバイト・フリーター募集 大学生・専門学校生・高校生・一般主婦 時給1,000円～1,500円・研修期間あり 週3～4日・シフト制 時間応相談 制服あり 日祝休 お電話にてご連絡ください 姉崎駅西口 すき焼き・しゃぶしゃぶ 宝や ☎0436-61-1975

買い物や飲食は地元のお店を利用しましょう
地域情報紙 シティライフ 市原版
2019年11月16日(土)市原版 8
配布地域／市原市・袖ケ浦市【75,000部】
https://www.cl-shop.com
地域で守ろう子どもの安全
企画・制作／シティライフ編集室　〒290-0056 市原市五井4874-1
TEL.0436(21)9311　FAX.0436(21)9142
■広告のお問い合わせ…sales@cl-shop.com
■記事・情報は…kiji@cl-shop.com

匂い立つ押花絵 花に永遠の命を

押花コスモス会 押花絵画展

茂原市立美術館で8月末から10日間、押花コスモス会による押花絵画展が開催された。会の代表で押花インストラクターの吉田光子さんは茂原市在住で、茂原市内外の6か所で教室を主宰している。絵画展は3年に1度開かれ、今回で3回目。6つの教室から出品された100点ほどの作品と、押花をあしらったウェディングドレスや障子を用いた展示で会場は華やかな雰囲気に包まれ、会期中は大勢の人でにぎわった。

一言に押花絵と言っても作風やモチーフは様々で、風景画や古典絵画の模写、物語の一場面を描いたりステンドグラス風に仕上げたものなど、バラエティに富んでいる。どれもこれも趣向が凝らされ、思わずため息が出てしまう美しさだ。中には孫息子の命名書や、息子夫婦の結婚披露宴のウェルカムボード、花嫁のブーケを作品にしたものもあり、ハレの日を彩るにふさわしいその華やかさは押花絵の特徴の1つだろう。

さらに驚くのは、画材として使われる素材の種類の多いこと。「花や葉はもちろん、果物ではイチゴやレモン、野菜ではトマトや人参なども薄切りにして乾燥させることができます。ツルものは動きを出すのに重宝し、コケや木の皮も使うことができます」と、吉田さん。押花の素材集めは、自宅で花を育てたり、仲間と散策をするなど楽しみでもあり、また苦労でもあるという。「作品にはいろいろな風合いや色の押花が大量に必要です。1年を通してその時期にしかないものを逃さないよう集めたり、材料になるものを何かと探す癖がついています」と話す吉田さんの自宅には、衣装ケース5個分の押花のストックがあるそうだ。

絵画の作成はピンセットを片手に、台紙の上に押花を置いていく。「平面で立体感を出すのがとても難しいです」「頭に浮かんだイメージをどうしたら表現できるか、先生にいつもアドバイスをいただいています」と、会員たちは時に四苦八苦しながら、花の命を額の中に閉じ込める。

会場には押花をあしらった箸置きや印鑑入れなどの小物も陳列され、小物づくりの体験会も行われた。祖母の作品を見に来た小学5年生の遠山裕乃さんは、ボールペンとコースターを作成し、「コースターは色の配置が大変でしたが、とても楽しかったです」と笑顔で話した。

教室は次の6か所。茂原市五郷福祉センター、同二宮福祉センター、同墨田の吉田さん自宅、長柄町公民館、市原市辰巳公民館、千葉市鎌取カルチャーセンターで、それぞれ月1回。興味のある方は問合せを。（石井）

(問)押花コスモス会　吉田さん
☎090・7809・9893

「なごみの庭」吉田光子

「伊藤若冲 旭日雄鶏図」遠山千寿子

伝統工芸の張り子を 一宮の工芸品に

長生郡一宮町在住の馬淵さち子さん(55)は、玉前神社門前に構える自身の店『一宮張り子の店 ちゃらこ屋』で、張り子の制作および販売の日々を送っている。張り子は江戸時代に流行した郷土玩具で、犬やタヌキ、ウサギやキツネなどをモチーフにした人形が主だが、近年は後継者不足が一因で目にする機会が減ってしまっている。馬淵さんは、そんな張り子の継承を願って10年ほど前から制作をスタート、今年5月に同店をオープンさせた。

神奈川県川崎市出身の馬淵さんは、都内で大学講師として中国の美術史を教えていたが、結婚と出産を機に16年前、長生郡一宮町に移住してきた。「実家は川崎大師のお膝元、隣近所がひしめき合う下町でした。自然豊かな土地に憧れていて、転居した後も都内にずっと通勤していたんですが、数年前に退職。今は夫と息子が、私の制作した張り子に意見をくれたりして楽しいです」と、笑顔で話した。

張り子の制作方法は、まず木材を彫刻刀で彫って造形することから。そして、水で濡らした専用の和紙を張って乾かす。その後、切りこみを入れて中の木型を取り出す。木型と同じ形となった和紙に、貝殻を原料とする胡粉（ごふん）と動物の皮や骨が原料のにかわを水で溶き混ぜ合わせて何度も繰り返し塗った後、彩色を施せば完成だ。同時に数10個を並行して制作し、全工程におよそ1週間かかる。「お店を始める1年くらい前から、玉前神社さんの境内で屋台を出して張り子を売っていました。そこで小学生の子ども達から手頃に買える物が欲しいと要望があって、より工程が短い『土人形』も作っている」とか。張り子より少し重みのある土人形は可愛らしい顔つきだ。

「張り子の魅力は、貝殻という自然の色がもつ暖かさが生み出すぽってりとした質感。昔からの伝統的なモチーフの一つ一つに意味があることです。私は中国の美術史を研究していた時から趙孟頫（ちょうもうふ）という文人画家の考え方が好きです。昔の良い部分を残しつつも独自の技術を盛り込み、新しい物を創作する。張り子をそんな風に生かしていきたい」と、馬淵さんは強く願った。9月7日から長南町の大谷家具製作所で開催された『暮らしと工藝展2019』に出品したが、「あるカップルが、大谷家具さんのチラシを見て私の作品を気にいり、彼の誕生日という特別な日に購入したいと訪ねて来てくれました。私の張り子がちょっと特別な物になった気がして、嬉しかった」というように、制作は小さな幸せに溢れている。

「玉前神社さんへの参拝をきっかけに、今はお店に寄っていただけることが多いです。今後は、私のお店を目的に来たお客さんが、玉前様や商店街を訪れるという風に地域に恩返しできたら」と願う馬淵さん。お店の定休日の木曜と金曜以外に営業中だ。ぜひ可愛い張り子に触れてみては。（松丸）

(問)馬淵さん
☎080・8858・1218